



ウオーカー  
学都仙台 Walker

— 近代高等教育のおもかげを訪ねて —

2018年11月25日(日) 13:00~16:00



SMMA 見験楽学ツアー



【発行・連絡先】

仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局  
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)  
TEL 022-713-4483 / FAX 022-713-4482  
E-mail office@smt.city.sendai.jp

**SMMA**  
SENDAI MUSEUM ALLIANCE  
仙台・宮城ミュージアムアライアンス



## 東北学院大学博物館 今後のイベント

### 第20回文化財レスキュー企画展 「クジラお宝珍物館—クジラ工芸と鮎川の近代—」

平成30年11月17日(土)～12月6日(木)

近代捕鯨のまち—鮎川。ここでは、鯨歯や鯨ヒゲを使った工芸品がお土産物として定番になりました。

本展示では、鮎川の工芸品の歴史や技術などからみたクジラ文化を紹介いたします。

また、国立民族学博物館の所蔵品より世界のクジラ工芸も紹介し、これらと比較することで鮎川のクジラ工芸についても考えてみたいと思います。

- 開館時間：午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日：毎週日曜日、祝日・休日、大学の定める休業日
- 駐車場：身体障がい者専用駐車場3台
- 入場料：企画展期間中は、開館無料です。



## SMMA 今後のイベント

### ◎ミュージアムユニバース ～すてき・ふしぎ・おもしろい～

SMMA に参加しているミュージアムが、それぞれの「とっておき」とともにせんだいメディアテークに集まります。ミュージアムの「すてき・ふしぎ・おもしろい」を伝えるさまざまなプログラムに参加して、「知る」ことの楽しさをぜひ体験してください。

日時：12月14日(金) 19:00-20:30  
12月15日(土) 10:00-17:00  
12月16日(日) 10:00-16:00

会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア他

◇入場無料◇



※写真は昨年の様子です

## 仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

仙台・宮城地域のさまざまな博物館が共通の知的資源として協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指して活動しています。



www.smma.jp

## 見験楽学ツアー 14

# 学都仙台 Walker

— 近代高等教育のおもかげを訪ねて —

明治以降、仙台は東北の近代高等教育の拠点となりました。五橋から片平周辺はもともと武家屋敷がならんでいた場所で、その跡地利用の一環で各種学校が建設されていきました。また広瀬川を見おろす米ヶ袋界隈は、外国人宣教師や英語教師などが邸宅を連ねていました。

今回のツアーでは「学都仙台Walker」と銘打って、大学生たちがピックアップしたお薦めスポットを歩きながら学都仙台のおもかげを訪ねます。多くの外国人教師の活躍がしのばれる建築や、ゆかりの地をめぐり、仙台の新たな魅力を再発見しましょう。

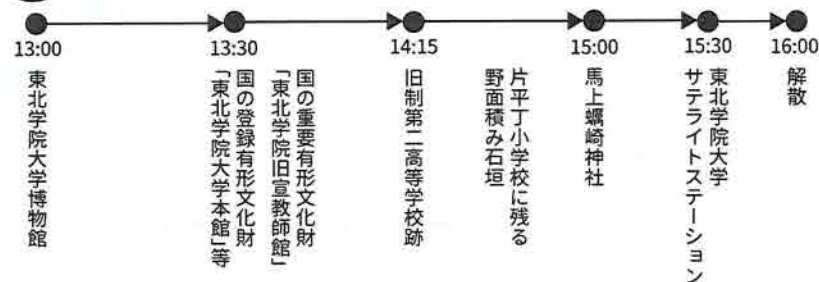
案内人

加藤幸治 (東北学院大学博物館 学芸員)

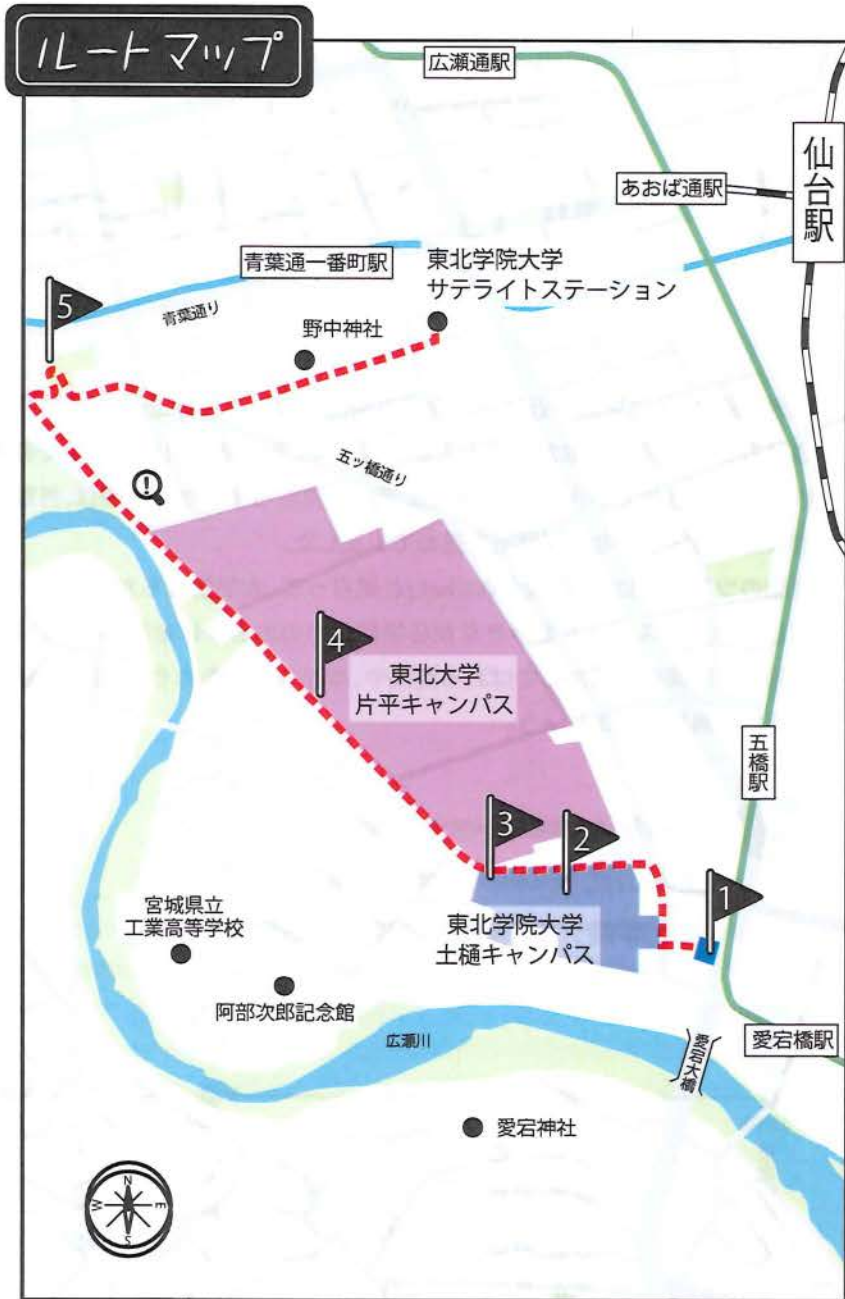
土岐山武 (東北学院大学博物館 学芸員)

東北学院大学 博物館学芸員資格課程3年生

コース







## SMMA参加館

### 社会福祉法人共生福祉会 福島美術館



仙台の実業家・福島家3代が収集した作品約3000点を収蔵。平成30年度末で休業します。(展示は12月22日まで)

### 仙台うみの杜水族館



豊かな日本の海や自然環境を体感できる大水槽、海の生きものたちによる東北最大級のパフォーマンスなど様々なコンテンツを有する水族館です。

### せんだい3.11メモリアル交流館



東日本大震災の記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎだし、未来へ、世界へとつなげていく拠点です。

### スリーエム 仙台市科学館



緑豊かな台原森林公園内に建ち、自然史系、理工系、生活系の3つの展示室のほか、岩石や植物の屋外展示もあります。

### 仙台市縄文の森広場



山田上ノ台遺跡で発掘された縄文時代のムラを、植生環境とともに復元しています。土器づくりなどの体験活動を実施しています。

### 仙台市天文台



口径1.3mの「ひとみ望遠鏡」やプラネタリアム、天文展示室等を備えた総合天文博物館です。

### 地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)



富沢遺跡から発見された2万年前の人間の生活跡と森林跡を保存し、公開しています。

### 仙台市博物館



伊達家書簡文化財をはじめ、仙台に関わる歴史・文化・美術工芸資料等を収蔵し、常設展では随時約1,000点を展示しています。

### セルコホーム ズーバラダイス八木山



世界各地に生息する約500点の動物たちを飼育・展示している東北最大の動物園です。

### 仙台市歴史民俗資料館



県内最古の洋風木造建築である旧陸軍兵舎を利用し、明治時代以降の仙台の歴史と人々の暮らしを紹介しています。

### 仙台文学館



明治以降の郷土ゆかりの文学者、土井晩翠や島崎藤村をはじめ、井上ひさし初代館長や現在活躍中の作家を紹介しています。

### せんだいメディアテーク



図書館、ギャラリー、スタジオ、映像音響ライブラリーなどの機能を備えた、市民の美術や映像文化の活動拠点です。

### 東北学院大学博物館



東北学院大学の歴史・文化に関する研究成果をもとに、様々な展示・企画を行う大学博物館。学芸員養成の場としての役割も担う。

### 東北大学総合学術博物館



大学の研究者たちが世界中から集めた珍しい化石や鉱物、土器や石器、骨格標本、有孔虫、サンゴなどを展示しています。

### 東北大学史料館



東北大学の記録を保存・公開する日本初の施設で、大学の歴史や魯迅の展示などを行っています。登録有形文化財の建物も見所です。

### 東北大学植物園



東北大学が設立した自然植物園。仙台城築城後に引き継がれてきたモミの美林があり、天然記念物「青葉山」に指定されています。

### 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館



人間国宝(型絵染)で日本を代表する染色工芸家芹沢銈介の作品と、氏が収集した世界の工芸品を紹介しています。

### 東北福祉大学・鉄道交流ステーション



東北福祉大学が運営する駅前の鉄道資料館。鉄道をテーマにした企画展と模型館を中心に広く一般の方にも大学をご利用いただけます。



## 見どころ

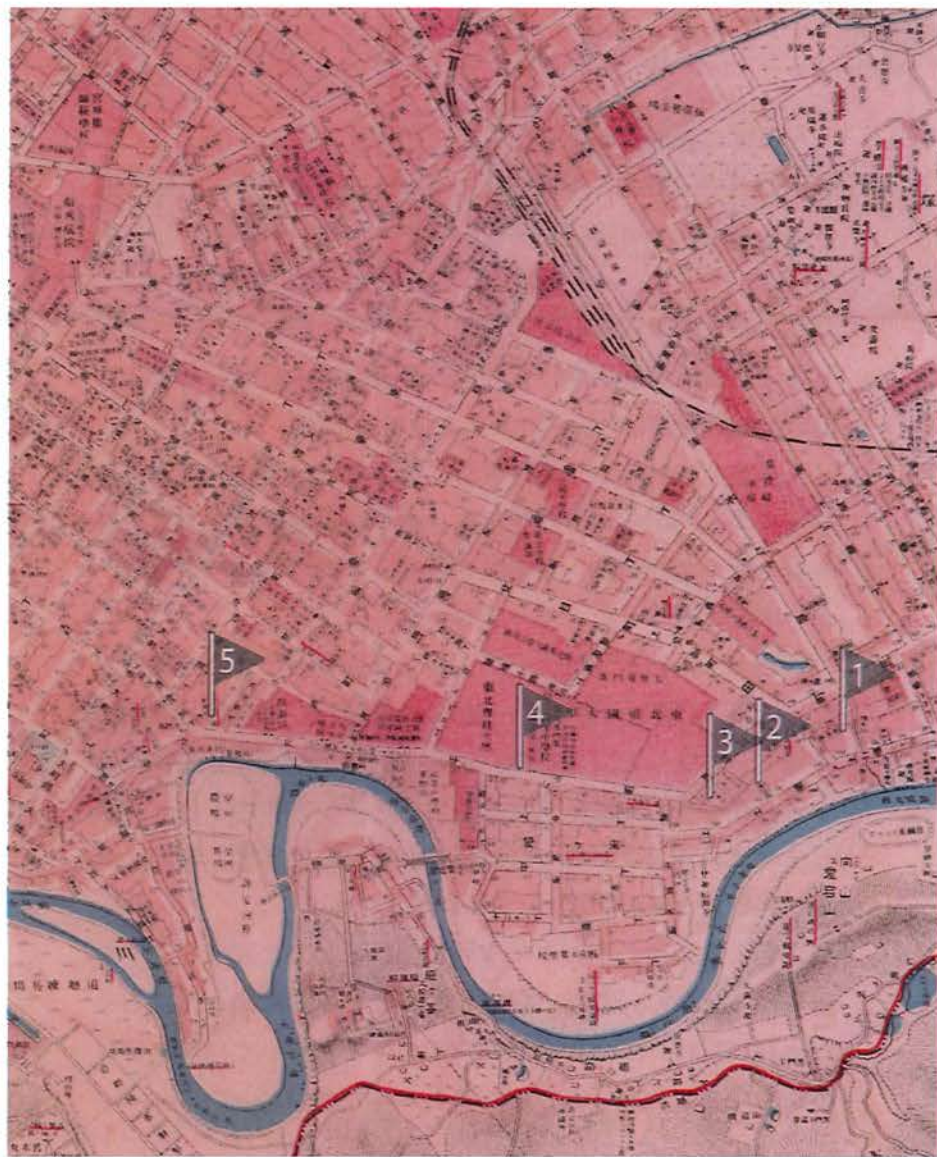
### 片平丁に残る野面積み石垣

小川記念公園の近くの歩道には、石垣が続いていることがわかります。かつてこの地には伊達家の重臣の屋敷が存在していました。石垣はその名残として、藩政時代から現在に至るまで、姿を変えることなく仙台の街を見守ってきました。自然石を加工せずに積み上げる野面積みを特徴としているため、隙間や凹凸が目立ちますが、所々に長方形や正方形に加工された切石積みの箇所も見られます。

### 馬上蠣崎神社

馬上蠣崎神社は伊達家一門格修験の寺、良覚院に源流をもちます。1872年（明治5年）には「修験禁止令」により廃寺となりますが、祈祷の守り神である「役小角」「前鬼・後鬼」の石像が現在も残っています。これは良覚院唯一の遺構です。

1885年（明治18年）に蠣崎という地から現在地に神社が移されました。この神社にはある言い伝えがあり、伊達政宗に献上された「五島」という馬は、自身が戦力外となったことを嘆き飛び降りて死んでしまいました。その愛馬を弔うため建てられた神社です。また、子供のジフテリア治療に霊験があるとされ、信仰の対象とされてきました。



大正期、学都仙台の100万分の1地図

(『最新版 仙台市全図市外町村及番地入』東洋道画館 1912 より)



## 見どころ



今日をご参加頂きありがとうございます。  
今回のツアーでは、学都仙台と呼ばれる所以となった地を巡るとともに、その近辺にあるおすすめスポットを紹介します。

初めに、右の写真と共に東北学院大学の歴史について紹介します。東北学院大学は、1886年に仙台神学校という生徒数6人の小規模な私塾から始まりました。

その後、1891年に「東北学院」と改称され、正式に学校となります。1903年の専門学校令に伴い、東北学院大学は中等教育を行う普通科と、高等教育を行う専門科(後の専門部)から構成されることとなりました。

1905年、人数の増加にともない、普通科の校舎として新たに東二番丁(現在の青葉区一番町)に校舎(右下写真)と寄宿舎が建てられました。1919年に南町大火で全焼しましたが再建され、赤レンガが貼られた校舎は「赤レンガ校舎」として親しまれていきます。この校地は2006年に東北学院中学校・高校が移転するまでの約100年間利用されました。

現在の本館は、1926年に専門部の校舎として完成し、その白さから「白垂の殿堂」と呼ばれました。本館の向かって右にある礼拝堂は1932年に完成したものです。詳しくはツアーにて解説しますので、どうぞお楽しみください。

## 東北大学体育館

東北大学体育館はもともと、現在の仙台空港の場所にあった陸軍飛行場の格納庫を戦後移築したものです。陸軍飛行場には併せて仙台陸軍飛行学校が設置され、航空関係の兵を育成していました。この格納庫には通称“赤とんぼ”とよばれた練習機を格納していました。練習機は羽布張りの主翼だったため、雨に濡れないように格納されていました。今も名残として、南側の鉄の扉には旧字体の表示が残っています。

## 旧制第二高等学校跡

1884年(明治17年)4月に中学校令が公布され第一高等中学校(東京)・第三高等中学校(京都)が設けられ、翌年に仙台の第二高等学校が第四高等中学校(金沢)・第五高等中学校(熊本)とともに設立しました。第二高等中学校は、定員460名の本部と定員200名の医学部から成り立ち、現在の東北大学に至ります。1894年(明治27年)6月に高等学校令が公布され、同年9月に第二高等学校と改称し、片平丁には本部・医学部ともに1889年(明治32年)に移転しました。

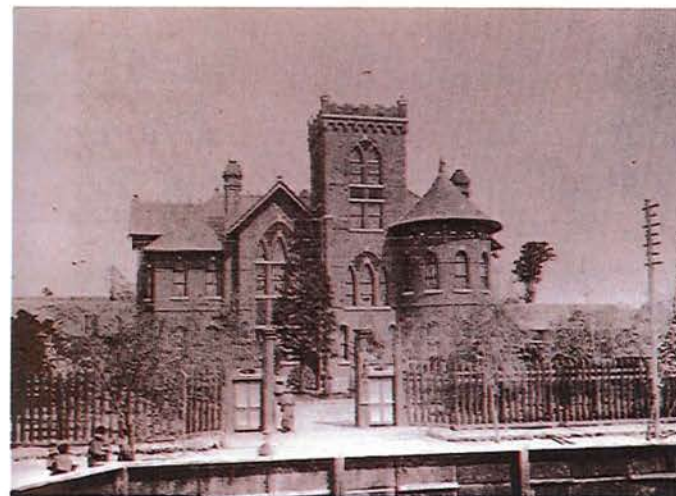




見どころ



東北大学体育館



神学部校舎



旧制第二高等学校



普通科（中学部）校舎

## 見どころ



東北学院大学本館



デフォレスト館

### 東北学院大学本館

東北学院大学本館は、当時の専門部（文科、師範科、商科）の校舎として、本キャンパスに建てられた最初の建物です。鉄筋コンクリート3階建ての建物はチューダー・ゴシック調にデザインされています。1923年（大正12年）の関東大震災後に建設が計画されたことから、耐震性も念頭に置いた構造になっています。建設費23万円という当時における巨額の費用は、国内外の篤志家からの献金によって賄われ、現在も大切に使い継がれています。

### デフォレスト館（東北学院旧宣教師館）

1887年（明治20年）に建てられた西洋館は、最初の住人であるデフォレスト宣教師に因んで「デフォレスト館」と名付けられ、平成25年に国の登録有形文化財に登録されました。館の建築様式は17世紀～18世紀のイギリスやスペインなどの植民地、特にアメリカの植民地時代に発達した「コロニアル・スタイル」と呼ばれるもので、ベランダ、サンルーム、格子で装飾された天井などが特徴です。一方で日本の在来工法が見受けられ、和洋折衷な建物でもあります。明治期の建築事情を垣間見る事のできる貴重な遺構となっています。